



一〇〇〇哩を
 駆けつけて (一)
 清交會 登良夫 生

我等五名のクラスメートは一〇〇時間の旅行を書しその出發を昭和八年十一月十一日の夜と定めたり。Y君の家に集ふ面々元氣横溢恰も四十七士そぼやの幕の如く——八時全員揃ふそれより御成式とて金明水に長途の安全を祈る。

強雨は戸を叩き烈風庭木を振はすに眉をひそめど今日ばかりはラヂオの氣象報知を心頼みとし明日は快晴ならんと自己慰安に杯を重ねぬ。

晝よりの豪雨を衝へて九時半自動車はヘッドライトの光芒燦たり路面を照し徐々に車はすすべる。湯本泉も東の間早くも大津にかゝる此處にて醫藥品を求め一時間程休む。

豪雨尚その怒りを止めずされど元氣いさゝかも衰へずタイムアップ茨城縣に入れば路面坦々として車のすべり具合頗るよく橋はいづれもコンクリート造りにして橋秋雨端雨にけふる電燈は一入その美觀を倍加す。水戸城下に入る。

静寂より騒音へ泥土よりコンクリート補道へ山村より都へバット花が咲いたかのやうに大東京への一步は目新らしく茲に印せらる。七時車を主野車坂町の角むらたに止む。日に十數萬の人間を吞吐する上野驛頭を二階越に眺め朝食の箸を握る。

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【朝】 みそ汁——里芋 笹がき——ごぼう 人参
 【晝】 親子飯——鶏肉 たまご みつ葉
 【晩】 ゆずみ をかてさん ぎとうふ ゆずみそ かけわさび

大夏高樓の櫛比する所縦横無盡に車は流れ人馬は織る正に海のない港である。車は程なく程ヶ谷にかゝる、車中にて贅澤を言ふまゝにお菓子を買ふ大船芽ヶ崎大磯と飛ばしに飛ばして車は早くも國府津を経て小田原につく。

正午蕎麥に腹を満し小田原城跡を尋ぬ。

これより先に御幸ヶ濱袖ヶ浦と云へるあり前者には大敷網の件にて白井氏と刑競せし某の居住せる家屋の前を通る後者は眺望絶佳の場所頭を正せば遙るか伊豆の大島三原山の噴煙を望む

採光の良否は保健に重大な影響を及ぼす光線は左からが良い前方からの採光は避けた方がよい

雨は全く止み六時頃には満天の雲散り曉雲を衝いて日輪碧空を彩る。

鉛の如き気分も拭はれバケツ持つ手も軽々しく泥ねいにその姿を汚せし自動車は掃除も一日和やかに終る。

旭硝子株式會社製品
 赤菱印 **板ガラス**
 製造 賣販
 硝子 食器
 硝子 壺
 其他 各種
松崎硝子製作所
 平町新川町(電話一四二番)
 〇支工場 仙臺市榮町(電五九七番)

今年度新色全部入荷致しました。相變らず御引立の程を。
 (色見本帳進呈)
毛糸
 合名 會社 **ハシモトヤ糸店**
 平・田町 電十四番

外科
 専門 線光 X
上田外科醫院
 平町南町
 電話一三九番

日本に唯一つの魂這入った
東京工場
聯盟の自轉車
 指定販賣所 **フタバ商會**
 平新川町・橋際

時計ト蓄音器!
 東京音頭 市勝太郎
 千鳥格子 勝太郎
 丹下左膳 二勝三吉
 じねじよ
 其他流行唄各種入荷致しました。
金光堂
 電。一九五

江戸前料理
 近日煮込みおでん 始めます
錦水
 御祝儀 仕出し
 法事
 平・電四五四番

貸切の●●●
 御用命は!!!
 (獅子吼) 四四九ノ勢デ
 (マツサキ)
 三九二タクシーへ!!!

中村齒科醫院
 平町鍛冶町七

月曜 是非

郷土教育振作

地方青年子女の農村離支は久しい間の問題であるが、未だにその防止策成らず、地方疲弊の深刻化と共にネオンとジャズの都を戀ふてたゞ單なる眩影に誘はれつゝ、出奔者相次ぐ状態で、平署への搜索願等も、大半は是等不心得の者に依つて占められて居る。

茲に郷土教育の必要を痛感する。郷土教育思潮は、教育劃一打破、農村更生、郷土創造、地方振興等の思潮から擡頭して來つたもので、平町各學校の郷土教育の状況は、最近長足の進歩を示し、郷土讀本の使用と共に、その教授が實際化して、生活指導の如きも著しく郷土の實情に即し、頗る徹底する様になつた。

殊に郷土の經濟調査の如きも非常によく手を盡して居る、而して是れは主として生産方面の調査が大部分を占め、消費方面は割合に等閑視されて居る傾向がある此の點は是非兩方面からの調査を遂げ、郷土の生産機構と消費方面の關連に於いてバランスをとる様にすべきである。

意であらうと思ふ、とまれ、青年子女をして自分を生み且つ育む土に對する理解と愛着を、その胸

に溢れせしめ、愛郷の念慮を熾烈ならしむるには郷土教育の徹底に待つより外はない、此意味に於いて、吾

人は今後益々郷土教育の振作を望むや切なるものがあ

消防組の檢閲に

非常時が反影

平署管内最年長の組頭が 駆足で町内一週

平署管内に於ける消防組の秋季檢閲は殆んど一段落を告げたが今回の檢閲は時恰も非常時に逢會したる事とて各組ともに組員の士氣頗る

緊張し規律訓練とも未だかつて見ざる統制下に

整然たる稀序を保ち大いに意を強ふるに足るものがあつたと横山署長は大満足を表してゐる、尤も同署長が騎馬姿凛々しく自ら先頭に立つて指揮

農試分場移轉の

動因は年千圓の敷地代

神谷農事試験場の移轉問題は地元選出縣議及び地元民

と歸途同人宅に立寄り妻やヨを散々ぶちのめして引揚げ「あーせい〜した」仲山ふるひ上る



巷の話題

安積郡大槻村渡邊菊治は村の祝宴に招待されタッの酒を鰯腹飲んだ揚句仲の悪い友人の聲と口論の末大立廻りとなつたが腕力ではとてもかなはずノサれたのが口惜しくて〜たまらず斯うとなるのも、皆あいつの婢アの差がねに違ひない

「おしうバ、を首にしろ、さもなければ皆殺しにするぞ」と女文字の脅迫状が頻々と名古屋東洋樓主宛に來るのでヤリテのおしう婆あさんすつかり震ひ上り保護方を所轄署に願ひ出たが取調への結果右は熱田花表先加藤かず〜同人姉久

子の無精な仕業と判明した、兩人は遂ひ先頃まで同家に娼妓をして居る際おしう婆アさんから散々いじめられたので、その腹癢せにやつたものたつた。

神様の行衛不明 新潟縣中蒲原郡石山村天理教分教會に奉置して居る教祖の御神體がこの程突然お姿を隠してしまつたそれは水原町の山崎貞一郎といふ請負師が現在の管理者や役

秋田縣大森町浪花節語り 丹波武松(七)は北海道で興

百坪の債貸料を村内地主に年千圓宛支拂つてをり設立以來約一萬圓の地代に達するのでこの点が分場の移轉問題の動因となる爲め本郡

暴風雨被害に依る

新造漁船に交附金

既報昨年十一月の暴風雨被害に依る漁船建造資金交附の爲め縣では豫ねてより調査中の處今回左の如く新造傳馬船四十八隻に六百四十八圓、發動機船廿一隻(四百九十七噸)に五萬六千六百六十八圓二十錢の建造助成金を割當てられたが各漁港の割當左の如くである

町村	隻數	割當額
泉	一〇	一三〇圓
江名	四	三九圓
豐間	三〇	四一七圓
四倉	四	五二圓
小名濱	五八、五一	四圓

町村	隻數	割當額
泉	一〇	一三〇圓
江名	四	三九圓
豐間	三〇	四一七圓
四倉	四	五二圓
小名濱	五八、五一	四圓

對抗弓道

警中勝つ

警中對平商の弓道試合は去る二日午後一時より平商矢場にて警中館野教諭審判の下に行れたが戦績は左の如く十六對七のスコアにて警中軍勝つ

警中	平商
高 萩 1—0 鈴木	
市 井 4—0 根本	
瀧 上 1—2 山崎	
赤 津 2—0 飯塚	
小 松 2—3 綿貫	

遠藤 2—0 志賀
新妻 3—1 本田
高田 1—1 植野

警炭角力部 日立を撃破

内郷村警炭炭礦相撲部では昨日茨城縣日立鎮山に遠征して對抗相撲競技を行つた結果警炭側は高松選手外四名の全勝者を残し三十三對十二を以つて日立チームを撃破した

警中學術考查

警中では来る八日より一週間に齊に第二學期考查を行ふと

平町人事

回出生

△二丁目六 當時東京市王子區志茂町石川周一郎氏
二界雄美
△四軒町一五 島山達氏六女友子
△長橋町一七 今宮喜一郎氏五女アサ子

長唄 花柳流 舞踊

御稽古をおすめ致します
花柳流舞踊 研究會
花柳徳三郎 杵屋十茂代

市原醫院

平町 田町 電話一四番

流れ出す八萬圓

警炭のボーナスは

昨年と較べて倍額

石城地方の各炭礦は市況の好轉と石炭の需要期を迎へ各炭礦共頗る好成績を挙げているので従業員のストーブ會議は今からボーナスの豫想で待切つて居るが警城炭礦では来る廿五日頃全従業員三千名に對して八萬圓の賞與を支給する事に決定した昨年度に比較すると倍額月棒の約十割と云ふ景氣で愈よ炭礦からの金は平町にも流出する事になつた

資金造成

青年團協議

八百圓拐帶

行衛を晦す

東京市大井區濱井場材木商金成輝政次男傳(三)は去る一日取立金八百圓餘を持つて行衛を晦ました本日平署に父親から懸賞付の捜査願が出た

射撃場の竣工式

来る十日射撃大會と併せて

既報石城聯合分會では過般來神谷村大字中神谷清水地内に建設工事中であつた東部射撃場が竣工来る十日午前九時より同所に於て盛大に竣工式と併せて射撃大會を開催する事になつたが當日のプログラムは左の如くである

(竣工式) 參列員整列 畢

川部農産品評

川部農會主催農産品評會は去る二日より三日間同村小學校に開催されたが出品數百廿餘点

平第一珠算會

平第一小學校では来る二十日午後一時より同校講堂に於て尋常科第五學年以上の珠算競技會を開催する

第二學力調査

平第二小學校では来る十八日全校兒童の第二學期學力調査をなす

平商操作査定

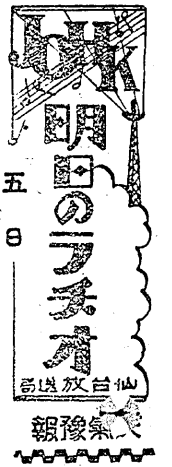
平商では来る八日全校生徒の操作査定會を行ふ

平署檢舉件數

平署の去月中に於ける犯罪檢舉人員は百十五名にて前月より二名減少して居るがその檢數は前月の百六十一件に對し五百一件と云ふ大激増を見せた是れは一人の犯人で五十件六十件と荒し廻つた事件が多かつた結果である

裁判所だより

△既報飯野村大字上荒川字福ノ内一〇九農佐藤泉一(三)が村長の公印を盗用し



今夜も明日の北西の風天氣良し

今晚の部

後六、〇〇(子供の時間) お話「少年時代の金原明善先生」濱松児童學生 後六、二五 英語講座(五ノ一) 鈴木富太郎 後七、三〇 講演「スマート」の山水 東北帝大講師 田中館秀三

後八、〇〇 但詠「濱村音頭」鈴木善藏其他「新佳話」中本テツ子其他 後八、一〇 三曲「八重衣」遠藤操其他 後八、四〇 映畫劇「初春」藤野秀夫 川崎弘子其他 後九、三〇 時報 ニュー氣象通報 番組豫告

明日の部

前七、〇〇 基礎獨語講座(三十三)橋本忠夫 前九、一〇 料理献立「鱈の白子の菊碗」熊野新一發表 前一〇、三〇 家庭講座「十二月歳暮茶の湯」栗山善四郎 後一〇、〇五 吹奏樂 陸軍戸山學校軍樂隊 後二、〇〇 家庭講座「箏のお稽古」(八)村田松泉 後五、三五 受験講座「英文解釋」佐川春水

△泉村大字瀧尻字泉町二農上遠野仁七(三)は去月十四日午後二時半頃附近の畑中に於て販賣の目的で豚一頭を屠殺し屠場法違反として罰金十圓

△湯本町大字湯本字日渡六(三)は無職佐藤末治(三)は去る九月七日より十日頃迄の間四回に亘り磐崎村上湯長谷地内湯ノ岳山に於て水樽を使用やまがら九羽を捕獲し狩獵法違反として罰金十圓

△小名濱町字本町一一大工職丹野芳郎(三)は去る九月五日同町字沖見町道路に於て刀渡約七寸五分の匕首一口を携帯し銃砲火藥類取締法違反として罰金二十圓

△同町字沖見町植木職加藤仙吉(三)は去月三日午後一時頃同町字定西齋藤吉方に於て小松源吉外一名と共に花合せ賭博をなし罰金二十圓

△双葉郡浪江町大字上藏役目二六日雇業上杉吉太郎(三)は去る十月十一日午後二時頃同町字高瀬地内靖戸川に於て禁上漁具を使用し

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める

川崎巡 回文庫 電六三〇番 (申込次規則書進呈)

新流行シヨール

今冬の流行を代表

する斬新な柄.....

ツルヤ

平四・電話一四〇番

銘劍秘笈

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫

第一百五回 徳川家に崇る村正

領主とは何者だ

俗に云ふ押附女房で元康公、無論御心には染みませんけれども、今川義元の勢ひの爲に止むを得ず御婚禮を整つた譯でございます、岡崎の御家來全部駿府へ伺候致して御喜びを申述、夫々献生物等もあつて何事もなく治まりました、時に弘治二年の秋元康公より今川義元への御願ひに

元「手前儀久しく本國岡崎へも參らず、就いては父廣忠及先祖代々の靈を慰めんが爲めに菩提所へ參詣仕りたく何卒御許しを蒙り度う存する」

義元之を承つて
義「其許の御孝心の趣きは豫ねて知りながら心附かざりしは我が過り、御都合次第御發足致されよ」

義元の首尾も上々でございますから、茲で御家内をお預けなすつて久し振りで三州岡崎へお國入りと相成ります、サア岡崎の面々は是まで國司の名あつて其甲斐なく、我大守の若君は駿河の今川へ人質同様の御身となつて、墓參さへも出來ざるを此度は一寸の御立寄りはあるけれども、岡崎へ御

歸城になると云ふは我々の待設けたる處であると云つて愈々岡崎御着になると云ふより五里七里城下を離れて領分境まで老臣の面々御出迎ひとして出て居ります
「エー下に居ろ……下に居ろ……片寄れ……片寄れ」

念珠を爪繰つて居る人なども見えました、扱若君の御輿物は追々に岡崎城附近の松並木邊までお越しになり愈々下に居ろ下に居ろと云ふ制止の聲が喧しく聞えまする何に致せ御領主の事故其有様は四邊輝く許り然るに岡崎より一里許り手前の松並木の茶店に腰をかけて茶をのんで居りました年齢二十歳ばかりの浪人態の武士
武「コレ爺、モウ一杯茶を呉れろ」
爺「ハイ只今差し上げますが今御領主様の御通りで土下座をしてお迎に申上げる



と徒士の侍先を制して往來を厳しく來掛ります、左右の松並木には御領主の若君様が久し振りで御歸國と云ふので、田舎の人は質朴であるから各々土下座をして領主の御國入りを拜して居ります、中には涙を溢し

のでございますから、貴方も少しどうぞ御待ちなすつて下さいまし、さうして貴方も床几に腰をかけて在つしやつては困ります、此の通り宿役人が先を拂つて参りますから、うぞお下に

彼の武士は不満の顔をして武「何だ御領主のお通りだ普天の下卒士の濱何れか王土王濱にあらざらんや、又日本の民は皆王臣だ、我等も其王臣の一人である此の土地の領主にも致せ、國司にも致せ、是は一天萬乗の君の領し給ふ日本の國ではないか、岡崎の領主だの或は國司だのといふのは己が勝手に名を付けて居るので彼も亦王臣だ、別に其の岡崎の領主が通行すればとて土下座をする等と云ふそんな事は出來ん、貴様達は勝手にするがよい、乃公はいやだ」

爺「旦那様そんな事を仰しやつては誠に困りますそんな貴方のやうな難かしい事を仰しやつても私には分りません、然んなら貴所が厭だと思召すならこんな所を御通行ならん方が宜しうございませぬ、山の中へでも入つて居れば誰も咎めは致しません、サアモウお先が段々見えますから、何うか床几を離れて土下座をなすつて下さいまし」

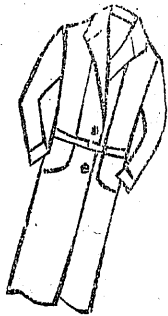
武「喧しいな、然し郷に入つては郷に従へと云ふ事があるから、土下座をしろと云ふなら致さんでもないが爺、一体此の領主と云ふのは何誰だ」
爺「貴所は御存じでございませぬか、此處は三洲岡崎で先君は徳川廣忠様でございまして、只今の御領主様は御幼少の時から駿河へ行つて彼地で御成長になり藏人様と仰しやつて御幼名

は竹千代君、今では元廣様と申されます、まだお年若でございますが御苦勞なすつた若様で、今川様の何か御姫様とか姪ッ子様とか云ふ美しい御姫様と此の間御婚禮がすんで久し振りで岡崎へ御歸國と云ふ事でございます」
○「ウム」
爺「ソコデ今日は愈々岡崎城へ御乗込みですから、御領内の者は前日から申合せ一同稼業を休み、お目出度い事ゆえ餅を搗いて祝ひまする始末でございます」

御買上の方に 電氣スタンド進呈

十二月十五日ま學女にて生オバケープ及中學外套御買上の方六拾名様に抽籤にて進呈

おかや洋服店 平三 電203



女學生オーバー特價提供

今冬流行のオーバ

色は何れも 紺と茶 生地仕立 充分吟味して御座います。

オーバ 6⁸⁰ (2尺5寸)ヨリ
ケープ 4⁴⁰ (2尺4寸)ヨリ

難

内科一般

醫學博士 難波 睦

平町大町新川端 電五〇二

醫

院

波

磐城セメント會社特約店

久全屋敷商店

磐城平町五丁目 電話九番九九番

□良品廉賣に勝る商略なし

□確實敏捷は久の生命なり

かまぼこ製造 杉本屋

平町一丁目

お惣菜用 さつま揚

吉原揚 不保實 電話一四一番

三井タクシー

平町二丁目 電話六八五番